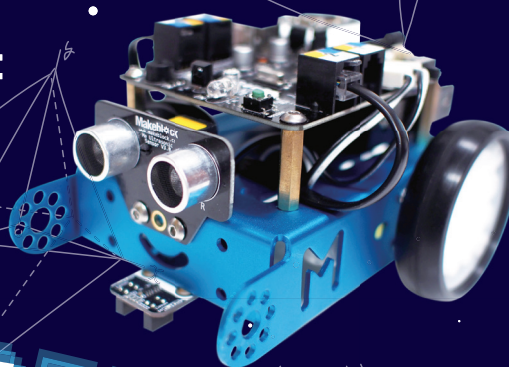


MAKEX

BRAIN SPORTS
E SPORTS
ROBOT
PROGRAMMING



SPARK

ROBOTICS COMPETITION

2021
オンライン日本大会
応募期間 7月1日(木)~8月31日(火)

予選エントリー
応募期間

MakeX 2021 日本大会 SPARK テーマ

FAMILY CARE

創造力
創造力

コミュニケーション能力
コミュニケーション能力

問題解決能力
問題解決能力

プログラミング能力
プログラミング能力

世界規模のロボットプログラミング競技大会 MAKEX!

オンライン予選応募期間

2021年7月1日(木)~8月31日(火)

オンライン決勝

2021年10月24日(日)

参加チーム条件

選手: 2名 メンター: 1~2名

対象年齢: 6~13歳* (*2021年12月31日の時点)

低学年部門: 6~9歳 高学年部門: 10~13歳

予選結果発表

2021年10月1日(金)

★2021年の特例

今年の大会に於いては、

メンバー1名 メンター1名 のチーム
の参加も受け付けます。

参加費 無料

WEBサイト
にて発表予定



← 詳しくはこちら!

<https://makex.jp>

“Family Care”

ファミリー ケア

みなさんは何人家族で日々生活を送っていますか？お爺さんやお婆さん、幼い弟や妹と生活を送っている人もいます。毎日お父さんやお母さんが帰ってくるまで、お家で一人でお留守番している子いるかもしれません。みんながよりよい生活を送るため、何か必要なものはないか？普段の日常をよく観察してみてください。近い将来、AIは私たちの生活に変化をもたらします。大人になった時、AIはどのように生活に溶け込んでいるのでしょうか？みなさんが考える、今をより良くするため、もしくは今の環境を持続可能にするための改善方法を考え、プログラミングや様々な材料を使って表現してください。

オンライン予選の提出物

1 応募用紙

メンターによる記入が必要です。

2 作品紹介動画

作品の紹介をわかりやすく説明し、実際に動かしている状態を撮影しながらレポートをして下さい。

動画要件

- 動画（5分間以内）に発表内容をまとめ提出
- 撮影方法の形式は問わない
（スマホ・WEBカメラ・ビデオカメラなど）
- チーム全員が各役割を代表して発表した動画を撮影すること
- 1チーム、1つの申し込みにつき提出できる動画は1つ
- 動画は、メンターが Google Classroom にて提出
（Google アカウントが必要です）

3 エンジニアリングノート

書式は問いません。A4用紙1枚～5枚にまとめて作成して下さい。作品に利用したエネルギーや機械機構、制作の動機や使用目的、作品を制作する上で参考にしたもの、創意・工夫したところなどを図やイラストを上手く使って、論理的に分かりやすく説明して下さい。

4 作品取り扱い説明書

書式は問いません。A4用紙1枚～5枚にまとめて制作して下さい。作品を動かすための操作の手順や効果を図やイラストを上手く使って、論理的に分かりやすく記述し、制作した作品の写真を必ず貼り付けて下さい。

作品の仕様

1 作品の主要部分は、コンピューターにてプログラミングされた動作する「もの」である必要があります。

※PC画面上でキャラクタを動かす作品、コントローラーで操作する作品は不可

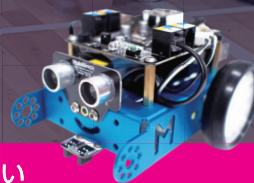
2 作品の完成サイズは、最大 縦800mm×横450mm×高さ600mm 以内で制作して下さい。 （主要部分及び装飾部品等の材料を全て含む）

3 プログラミングをするコンピュータ（例：mCore /micro:bit/Halocode LegoWeDo2.0 EV3 etc..）や、ソフトウェア（例：mBlock5/Scratch3.0/ev3 ソフトウェア etc..）、構造物（Legoブロック・紙・段ボール・mBot パーツ・日用雑貨など）に制限はありません。



<https://makex.jp/>

WEBサイトに掲載のルールブックをよく読んでご参加ください



■ お問い合わせ
MakeX-Japan オーガナイザー
株式会社 Azhai Communications
TEL 03-6555-3933
MAIL info@azhai.co.jp
URL www.makex.jp